

亀池通信 No.3

～秋の出来事～

10月2日（水） 第1回鳥取医療センター病院フェスタ開催

当日は晴天に恵まれ、下田院長の開会宣言に続き、オカリナ演奏、保育所園児の歌などによる開催セレモニーを皮切りにフェスタのスタートとなりました。保育所保護者によるバザーや鳥取県のマスコットキャラクターであるトリピーの練り歩き、賀露かにっこ館の出前ミニ水族館がフェスタを盛り上げてくださいました。

外来棟周辺では作業療法で患者様と一緒に作った作品や各職場のポスターを掲示し、栄養相談・薬剤相談・検査相談・福祉相談コーナーも設置されました。各部門が一丸となって鳥取医療センターの魅力表現しあった一日でした。

重症心身障害児（者）病棟では、日頃の療育活動で腕を振るった数々の力作が展示され、見た方々から「すご〜い。じょうずだね。」といった声が聞かれ、来場された方を感動させてくれました。また、ボランティアの方々と一緒にミニゲームを行い、日頃聞かれないような大きな笑い声が響きわたっていました。多目的ホールではカラオケ大会も開催され、精神科で入院されている患者様が自慢の喉を披露され、観覧に訪れた方々からの拍手をあびていました。



下田院長の開会宣言



保育所保護者によるバザー



いろいろな品物があり、訪れた方々が購入されていました。



入院患者様によるくす玉割り。
みんなで協力して紐を引っ張りました。

即興にも関わらず、子ども達は元気な歌声でセレモニーを盛り上げてくれました。



♪～オカリナ演奏～♪

楽しそう～
僕たちも見学したかったな～ 残念！



出前かっこ館では、入院中の患者様も、保育所の子ども達も、職員も、普段ふれあうことがない、魚たちにふれあい、感触を楽しみました。子ども達の歓声が響いていました。



サメ、カニ、ヒトデ、ザリガニなど沢山の種類の魚たちが出迎えてくれました。



ミニゲームコーナーもあり、思い思いに楽しいひとときを過ごしました。



♪ トリピーはどこでも大人気 ♪



「かわいい〜!」「トリピーだ〜!」と、院内各部署で記念撮影が行われていました。患者様とのふれあいもあり、院内のあちこちで歓声が上がりました。

各部門の紹介

各部門に別れ自部署のPRをしました。

作業療法で作った様々な作品展示や、各病棟の趣向を凝らしたポスターが廊下の壁一杯に展示されました。外来受診に来られた方々も「すごいですね」と足を止めて眺めて行かれました。



看護部屈指のアスリート ドラゴンボート競技日本代表選手紹介

日本選手権6連覇中で10月に中国・天津市で行われた「東アジア競技大会」に日本代表として出場してきました。大会では22人艇・500mで悲願の銀メダルを獲得しました。中国ではPM2.5が鳥取の6倍という驚異の大気汚染でしたがN95マスクで防御しながらベストコンディションで大会に臨むことができました。



※詳しい大会結果は日本オリンピック委員会のHPに掲載されています。



一步一步着実に
♪～ともに学び、
ともに成長する姿～♪
感動～！

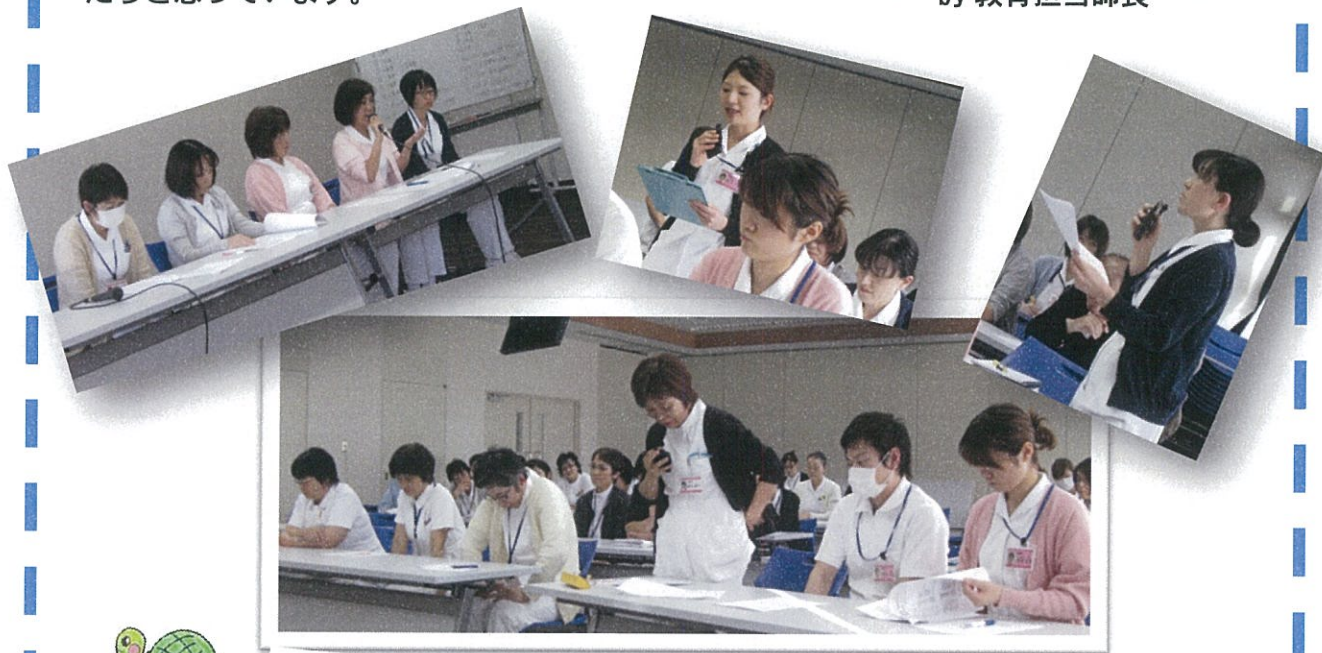
11月20日 「看護を語る」発表会開催

一今年で「看護を語る研修会」4年になりましたー

各部署からの代表者が、各々の体験を伝え、「先輩から後輩へ」「各職場での看護の紹介」にもなり、なによりも「自分自身の看護を振り返る」機会になりました。私たちは忙しい中で、ゆっくりお互いの看護を語って伝える機会が少ない状況ですが、看護の専門職として常に学び続けなければなりません。お互いの経験した学びを伝え合うことで、共に育ち成長する仲間であり続ける努力をすることが大切だと考えています。

今回の研修で「改めて看護は奥深くやりがいがあるもの」「悩みながらも患者さんの気持ちに沿った看護をしようとする、熱い気持ちを感じ、自分も頑張ろうと思えました」「試行錯誤しながら日々看護を高めていっているのだなあと改めて感じる機会だった」など多くの感想がありました。「看護を言葉にする」という苦痛は少しありますが、それを乗り越えて、今後も看護の思いが伝わるように、このような取り組みを続けていけたらと思っています。

～ by 教育担当師長 ～



亀池の様子

～冬眠準備中～

冬になりめっきり冷え込んだため、亀達は水の中
からかおを見せることが少なくなりました。
運の良い人には、暖かく良く晴れた屋間に亀の姿を
見ることが出来るでしょうが、
これから先、春になるまで
しばらく冬眠です。

